

福祉部局と連携した家庭教育支援 「釧路町『学びカフェ』事業」

釧路町 釧路管内

【関係する団体】

釧路町教育委員会、釧路町健康福祉部



第2回学びカフェ「みんなで『ピラティス』体験！」

2 実施上の工夫

- 例年、6～7月に養成講座を実施することで、数名の家庭教育ナビゲーターを継続的に養成し、そのメンバーが核となり、事業を展開している。
- 子育て支援センターと連携し、子育て中の保護者の参画を得て、6回の体験メニューの企画立案を行うことで、事業の対象者が「いま」学びたい内容を実施できるようにしている。
- 「学びカフェ」の実施にあたっては、子育て支援センターなど託児機能が充実している場所を会場とすることで、保護者が参加しやすいようにしている。

3 活動の成果

- 「学びカフェ」の参加者からは、新しく母親サークルを発足させて学び合うことを希望する声があがるなど、自主的に家庭教育に関して学び合うネットワークをつくらうとする意識の変容がうかがえた。
- 「学びカフェ」の参加者は、講座当日に限らず、子育て支援センターを日常的に利用する中でも、互いに情報交流を行うなど、「学びのセーフティネット」の構築が推進されている様子が見られた。

1 活動の概要

- 日時
平成28年度（10月～3月） ※6回実施
- 場所
つくし・さくら子育て支援センター ほか
- 参加者
延べ57名（保護者）
- ねらい
家庭教育ナビゲーターを中心にして、釧路町の全ての保護者が、安心して子育てを行うための学習や相談機会を日常的に得られるような仕組みを構築する。
- 活動の形態
子育て等に関連する体験メニューと家庭教育支援に関する情報を提供し、参加者同士が交流及び学習を行う。



第5回学びカフェ「英語出合いのひろば」

4 活動の課題

- より多くの保護者と子どもに「学びカフェ」に参加してもらえるよう、周知方法や参加定員について検討する余地がある。
- 「学びカフェ」の参加者から、実施回数の増加や異なる体験メニューについての要望があり、さらに工夫・改善を行う余地がある。また、託児機能のない会場で実施する際には、必要なおもちゃや衛生用品の準備について、事前計画に位置付けるなど、よりスムーズな運営を行う必要がある。